

令和5年度 第1回太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

- 1 日時 : 令和5年6月1日(木) 14:30~15:40
- 2 会議方式 : web 会議
- 3 出席者 : 「出席者名簿」のとおり
- 4 議題 : 「議事次第」のとおり
- 5 議事概要
 - (1) 規約の一部改正について
 - (2) 令和4年度の実施内容
 - (3) これまでの進捗状況
 - (4) 実施項目の推進
 - (5) 情報提供
 - ・気象台からの情報提供
 - ・国土地理院からの情報提供
 - ・太田川河川事務所からの情報提供
 - (6) その他
 - ・今後のスケジュール
- 6 意見交換の概要
 - (太田川河川事務所)

昨年度の商業施設の防災フェアにおいて、広島市は豪雨災害の VR を紹介されていたが、広島市で作成されたものか。
 - (広島市西区)

VR は広島県から借りて、昨年の防災イベントで活用し、防災意識の向上を図った。両日とも多数の来場者があり、親子連れを中心に多くの方が体験いただいた。
 - (広島県)

みんなで減災推進課では、「ひろしま自然災害体験 VR」を運用しており、土砂災害と河川氾濫のシナリオを体験できる。この VR は市町村へ貸し出し、防災イベント等への活用や県が小学校を対象に実施している「ひろしま防災出前講

座」において体験できる。本年度の出前講座の実施は、10月以降の調整が可能
なため、希望がある場合は、みんなで減災推進課に相談いただきたい。

(太田川河川事務所)

排水計画に基づく排水訓練の実施を府中町と合同で実施させていただき、感
謝している。このような訓練を通じて、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化に
努めていきたい。

(府中町)

訓練への協力について感謝している。訓練により様々な教訓や検証事項が明
らかになったため、災害時の対応を迅速かつ確実に行うためにも、引き続きご協
力いただきたい。

(安芸太田町)

先日の会議で、太田川河川整備計画を見直しいただいている中で、洪水調節機
能の向上として、既存ダムの有効活用に加え、太田川本川上流部における新規ダ
ムの整備に向けた調査・検討といった提案を頂いた。町民の安全だけでなく、下
流域の広島市民の安全にも関わることと認識し、できるだけ早急に慎重に判断
していきたい。

その上で、防災対策を超えた災害の発生を考えていく必要があり、減災に関す
る議論ができることに感謝している。また、昨年、太田川河川事務所と防災情報
通信設備に関する協定を締結し、河川カメラ情報を本町においても把握できる
ようになり、今後の減災対策の推進に向けて太田川河川事務所と連携しながら
対応していきたい。

(太田川河川事務所)

防災情報通信設備の協定について、協力いただき感謝している。今後、関係機
関の皆様も含め減災対策協議会などを通じて、更なる連携を図っていきたい。